

検査結果表  
(防火扉)

検査対象である随時閉鎖式防火扉がない場合は、この検査結果表は添付する必要はない。

当該検査に関与した検査者	氏名		検査者番号
	代表となる検査者	〇〇 〇〇	
その他の検査者	△△ △△		2

検査者が1人の場合は検査者番号欄及び担当検査者番号欄には番号を記入しない。

番号	検査項目	検査事項	検査結果		担当検査者番号
			指摘なし	要是正	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	○		1
(2)		扉、枠及び金物	○		1
(3)		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1
(4)	危害防止装置	作動の状況		○	1,2
(5)	煙感知器、熱煙複合式	設置位置	○		1
(6)	感知器及び熱感知器	感知の状況			
(7)	温度ヒューズ装置	設置の状況		○	2
(8)	連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○		2
(9)		結線接続の状況	○		2
(10)		接地の状況	○		2
(11)	連動機構用予備電源	予備電源への切り替えの状況			2
(12)	自動閉鎖装置	劣化及び損傷の状況	○		1
(13)		容量の状況	○		1
(14)	設置の状況	○		1	
(15)	再ロック防止機構の作動の状況	○		1,2	
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○	1,2
(17)		防火区画の形成の状況			

(6)の検査事項は(16)又は(17)の検査が行われるもの以外の感知器の感知の状況を確認する。

温度ヒューズ装置がない場合は、この検査事項は取消線で抹消する。  
温度ヒューズのみの場合、(5)(6)(8)~(15)の検査事項は取消線で抹消する。

上記以外の検査項目

対象でない項目は全て取消線で抹消する。

同じ項目に要是正と既存不適格がある場合は、要是正のみに○をする。

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善(予定)年月
(4)	防火扉：危害防止装置	連動エネルギーが10Jを超えている(既存不適格)	ドアクローザーの調整(又は交換)	(○年○月)
(7)	連動機構：温度ヒューズ装置	既存不適格	煙感知器連動防火扉に取替	未定
(7)	連動機構：温度ヒューズ装置	温度ヒューズに破損が見られる	温度ヒューズの交換	(○年○月)
(11)	連動機構：連動制御器	自動的に予備電源に切り替わらない	電源切替え部品の交換	(○年○月)
(16)	総合的な作動の状況	防火扉が閉鎖しない	電源切替え部品の交換	(○年○月)

(17)の検査事項は1つの堅穴区画に設けられた防火設備が感知器連動で2枚以上同時に閉鎖する場合にのみ検査結果を記入する。これに該当するものがない場合は(17)を取消線で抹消する。  
また(16)の検査事項は(17)以外の防火扉が閉鎖する場合に検査結果を記入する。  
これに該当するものがない場合には(16)を取消線で抹消する。

「要是正」の指摘は、その項目ごとに写真を添付する。また、「要是正」と「既存不適格」の指摘は、図面に指摘の具体的内容を表記する。